

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	フォーリーフ市が洞校		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2024年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2024年1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援のため、一人一人に適したより細やかな支援を行うことができる。	定期的に内容の支援内容の見直しを行っている。支援のたびに内容を確認することで支援内容の統一化を図っている。	支援内容の見直しの際には、より多くの指導員の意見を聞く。
2	精神的なケアを行うことができる。	学校・家庭等でトラブルが発生したりした子に対し、話がしやすいように臨機応変にスケジュールや担当の調整をしている。	普段から話しやすい雰囲気づくりをする。情報収集に努める。
3	個別幅広い年齢、障害種の受け入れを行っている。	能力の把握のため、情報共有を行っている。	さらに多くの障害に対応できるよう情報を集め、知識の幅を広げる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援以外の支援内容の充実	平日にレクリエーションなどの活動を取り入れる。	10分程度の簡単なレクリエーションの導入を検討する。 レク担当の指導員を決めるなど工夫が必要。
2	日々の支援内容と様子の共有が不十分な時がある。	個別の担当職員以外、様子をみることができないので、引き継ぎなどが漏れてしまうことがある。	当日の支援について確認する時間の確保、利用者ファイルや情報共有ノートの活用などで補えるようにしていきます。
3	面談実施の仕組み化。	個別支援計画更新前にスケジュールが詰まってしまうことがある。	いつどのタイミングに面談を行う必要があるのかを明確にし、長期的に計画を立てる。